

「千葉市のキャリア教育 ～生涯を通じたキャリア教育の発達支援に向けて～」の策定

小中高のキャリア教育担当者と企業関係者や大学・専門学校等の関係者からなる「キャリア教育推進連携会議」を設置し、平成29年3月にキャリア教育に関する基本的な方針を策定した。

今後の施策展開のイメージ

① 社会人基礎力の育成

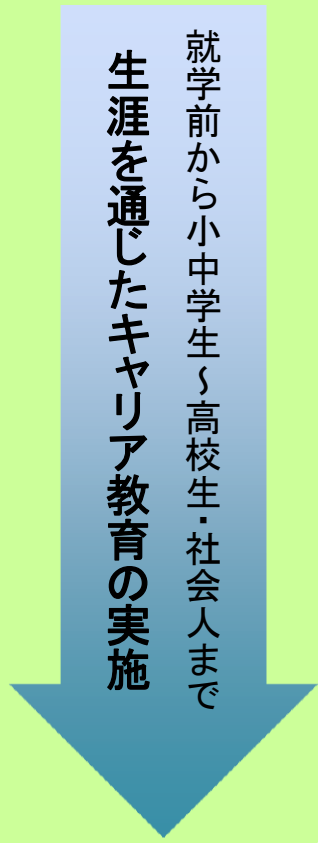
- 教育課程における「キャリア教育」の位置づけの明確化
 - ・ 線としてつながったキャリア教育の展開
 - ・ 探求型、課題解決型学習の充実
 - ・ 市立高校におけるインターンシップ等の充実、社会参画意識の醸成
- 職業体験活動の質的・量的な見直し
 - ・ 小中学校における職場体験等の産業界との連携による見直し
 - ・ 労働局との連携によるものづくり情報の提供
 - ・ 放課後等における体験機会等の充実

② 進路指導

- 将来を見通した進路指導
 - ・ 新たなキャリア教育指導計画の作成
 - ・ 産業界等の助言を受けた進路学習ノート改訂等
 - ・ 教員の資質、能力の向上
 - ・ 体験入学・学校説明会への参加促進

③ 職業教育

- 県立高校との連携
 - ・ 普通科以外の進路先に関する十分な情報提供
 - ・ 県立高校と市内企業との連携推進による普通科卒業生の就職率向上の方策検討
- 大学等と連携、社会人の学び直し
 - ・ 市内企業でのインターンシップ、企業説明会等の開催
 - ・ 生涯学習施設との連携



➡ キャリア教育推進連携会議を通じた連携を深めつつ、今後、目標値等を設定し、各事業を計画的に進める。 1

1. 職場体験活動の質的・量的な見直しについて

- <目指すところ> ○ 体験のねらいや目的を事前に体験先と共有した上での職場体験学習の実施
○ 職場体験先としての業種の多様化

■ 小学校

(1) 千葉県職業能力開発協会との連携によるものづくり体験【拡充】

<内容>ものづくり職人を小学校へ派遣し、小学生にもものづくり体験を実施

- ① 手づくりみらい教室（千葉県職業能力開発協会・千葉県技能士連合会主催） 1校（昨年度 1校）
② ものづくりマイスター（厚生労働省の事業） 3校（昨年度 1校）
※ 今後、中学校へも拡充を図る。また、保護者の参加も促すよう周知する。

子どもたちの主な感想等

- ・ 僕は本立てを作りました。ありがとうございました。このことを将来活かしたいです。
- ・ 何十年も修行を積んできた方のわざに触れることができ、とても良い体験だった。
- ・ とても良い体験をすることができました。教えてくださったみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

取組みの様子



住友林業建築技術専門学校による木工技術指導



千葉県畳業連合会による畳づくり指導



和菓子職人による和菓子作り指導

■中学校

(1) 千葉労働局との連携による職場体験先の拡充 (4. 参照)

<目的>幅広い業種の職場体験先の確保

- 労働局との協定に基づき、職場体験可能な事業所の一覧表を作成し公表した。
今後、29年度に追加した事業所を含めて最新の一覧表を公表予定。
- 一覧表の活用についてキャリア教育推進連携会議及びキャリア教育主任研修会で説明

(2) 事例紹介による職場体験の情報共有

<目的>職場体験学習の質の向上

- 各校の職場体験の体験先・方法・効果などについて情報収集し、効果的な取組みについては学校間で共有できる仕組みを構築する。

(3) キャリア教育推進連携会議で職場体験の在り方の協議

○6月1日にワーキンググループ会議、10月5日に本会議を実施(今後は2月)

○今後の「職場体験」の在り方について協議

・職場体験に関する課題として主に2つ挙げられた

- ① 時間がかかる(事前・事後指導を丁寧に行う必要がある)
- ② 体験先の確保(多様な受け入れ事業所)

○千葉労働局からの説明

- ・今春の就職状況
- ・事業所から見た職場体験の受け入れの難しい面
※個人情報管理や機密性の保持、安全性の確保についてどのような工夫ができるか

2. 将来を見通した進路指導について

<目指すところ>

○雇用情勢や民間企業のニーズや課題、新しい働き方等について理解・実感する教員の増加

(1) キャリア教育主任研修会【新規】

<目的> キャリア教育の一層の充実のために、諸問題を研究協議し、研究・実践のリーダーとしての資質向上を図るとともに、小・中学校間の連携をより一層強化する。

<対象> 小・中・特支のキャリア教育主任167名(昨年度は中学校進路指導主事55名)

<内容>

○労働局(※雇用対策協定に基づく)、専門高校やキャリア教育連携推進会議(※前述)座長等を研修会に招へいし、講演会等を実施することにより、企業が求める人材、雇用情勢、若年層の課題、また外部から見た学校生活におけるキャリア教育の要素等についての情報・知識を習得する。

*研修会の内容

- ・千葉労働局の講演「現在の雇用状況、キャリア教育の中で身に付けて欲しい力」
- ・県立京葉工業高等学校の管理職による講演 「専門高校の理解を深める」
- ・キャリア教育連携推進会議座長による講演
「今と未来をつなぐキャリア教育の推進ー学びの価値を実感する教育活動の工夫ー」
- ・千葉市キャリア教育研究部会の報告 「なんだよ。キャリア教育って」
- ・県教委の事業で活用可能なものを周知(7ページ(3)参照)

(2) 中堅教諭等資質向上研修における社会体験研修【拡充】

＜目的＞社会のニーズや民間企業、労働市場に関する情報を収集し、社会とつながりを意識したキャリア教育を実践することのできる教職員を育成する。

＜対象＞10年目の教員を対象に夏季休業中に実施 48名が参加(昨年度34名)

＜内容＞5事業所(昨年度3事業所)にて研修

○3日間の体験では、単なる職業体験ではなく、企業等の歴史や理念を学び、企業から与えられた課題についてグループで議論し、企業担当者に向けてプレゼンを行う。

*企業から与えられた課題の例(昨年度)

- ・小中学生がJFEスチールの仕事に憧れて入社したくなる「鉄のドラマ」を企画する
- ・千葉市ふるさと農園を活用した“千葉マルシェ”の企画提案する
- ・千葉市とイオンが共同する「オンリーワン都市」プランを企画提案する

○終了後、教育活動へどのように活かすか、プレゼンなどにより振り返りを行う。

社会体験研修の様子



JFEスチール株式会社内での研修



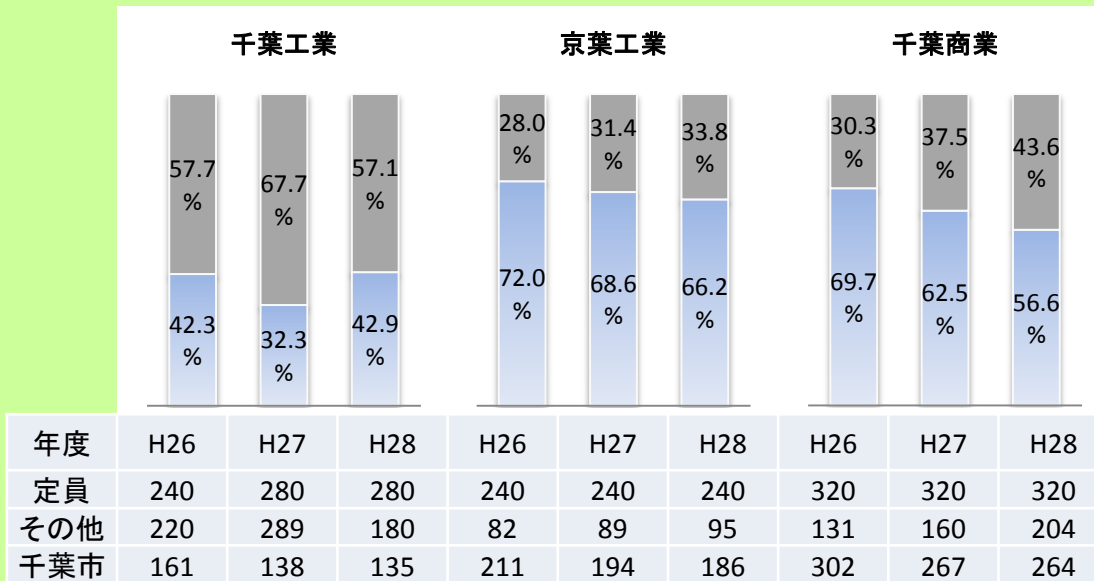
イオン株式会社内でのプレゼン

3. 県立高校との連携について

<目指すところ>

- 高校(特に専門高校)の教育内容やその後の進路先等の理解を深めることによる進路指導の充実
- 専門高校志願者に占める千葉市中学生の割合の増加

■ 入学者抜における各校志願者に対する千葉市生徒志願者合



■ 千葉市立中学校卒業者の進学状況

年度	H26	H27	H28
千葉市立中学校卒業生(人)	8,122	8,085	8,120
進学者			
普通科進学者(人)	7,113	7,047	7,110
県内普通科進学者	6,874	6,791	6,850
県外普通科進学者	239	256	260
普通科進学者(%)	87.6%	87.2%	87.6%
工業系学科進学者(人)	343	330	348
工業系学科進学者(%)	4.2%	4.1%	4.3%
商業系学科進学者(人)	346	386	330
商業系学科進学者(%)	4.3%	4.8%	4.1%

全国 : 普通科73.1%、工業7.6%、商業6.0%
 千葉県 : 普通科86.7%、工業2.5%、商業4.0%
 (H27学校基本調査より)

◆ 実際の取組み、今後の取組み予定

(1) 県立の専門高校と連携した教員研修【新規】

<目的> 中学校教員の専門高校についての理解を図る。

○ 県立京葉工業高校との連携による研修

- ・ 中学校教員が高校における専門教科の授業を参観することにより、専門学科(機械・電子工業等)についての理解を深めるための研修。6名程度予定。(11月以降実施予定)
- ・ 技術・家庭科教員が高校教員の指導により教科指導の専門性を高めるための研修。技術分野15名及び家庭分野24名が参加。(8月24日、25日実施)

(2) 県立専門高校生へのアンケート調査【新規】

適切な進路指導や効果的な情報提供を実現するため、主に県立の専門高校1年生を対象に、専門高校に志望校を決めた時期や理由、情報収集の方法等について調査

⇒ 9月以降に実施し、その結果を基に専門高校に関する効果的な情報提供方法を検討

(3) 県が行っている事業の活用や参加の働きかけ

① 小・中・高連携の特別授業【拡充】

＜内容＞ 高校教員が小・中・高・特支の児童生徒へ授業を実施

県立高校教諭379名が登録(県内では約250の小中学校が活用)

○ 小学校2校(千城台北、稲毛)、中学校1校(轟)が活用しており、今後積極的活用を促す

⇒ ① 4・6月に文書配付 ② キャリア教育主任研修会で周知

※ 専門高校の近隣の中学校に対して活用を呼びかけ

② ちば「授業練磨の公開日」【拡充】

＜内容＞ 11月の「学力向上月間」を中心に、県内すべての公立学校で授業公開し、異校種を含めた授業参観を実施

○ 千葉工業高校、京葉工業高校、千葉商業高校を中心に、今後の積極的活用を促す

⇒ 7月に市内全校へ周知

※ 進路指導担当の中学校教員に対して、専門高校の授業公開への参加を呼びかけ

③ ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度【新規】

＜内容＞ 千葉県内の企業が、職場体験受け入れなど学校への支援等を明記し県教委へ登録

○ 本制度に登録された事業所のうち千葉市内で職場体験が可能なものをピックアップ

⇒ キャリア教育主任研修会で周知

4. 千葉労働局との連携強化について

- <目指すところ> ○雇用情勢や民間企業のニーズ・課題等についての情報収集・活用
○雇用ミスマッチの解消（深刻な人材不足分野の人材養成）

雇用対策協定を活用した連携強化

○地域の雇用対策に強力に取り組み、「働きやすい都市の実現」を目指して、平成28年7月に、本市と千葉労働局との間で「雇用対策協定」を締結

平成29年度の事業計画では、「雇用のミスマッチ」解消に向けた情報・魅力発信、体験機会提供等の連携の取組みを強化

(1)市教育委員会が行うキャリア教育に関して、学校等の要請に基づき、労働局から職員を派遣し、最新の雇用労働情勢の講演等を行うなどの連携強化を明記

(2)「雇用吸収力の高い業種の人材に向けた支援」を新たに明記し、求職者が一般事務職に偏りものづくり企業など技術系業種の深刻な人材不足の解消に向け、千葉労働局・ハローワークと一体的に事業を実施

①求職者への周知、参加勧奨の連携

求職者に対して、人材不足が深刻なものづくり企業などの技術系業種についての企業情報、面接会・説明会の開催等の積極的な情報提供や参加勧奨の連携

②人材サービスコーナー等におけるマッチング支援

人手不足が深刻化する福祉・介護等の職種を対象に、人材確保の総合専門窓口としてハローワーク千葉が設置する「人材サービスコーナー」において、事業所見学会や就職面接会等の共同開催